

臨床検査医学



1. 臨床検査医学の紹介

臨床検査医学は基礎医学と臨床医学を結ぶ掛け橋となる総合的な学問です。当科は、臨床検査医学と内科の2つの基本領域の専門研修を担当しています。日本専門医機構の臨床検査専門医、内科専門医、内科サブスペシャリティの内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医、さらにはその上の糖尿病専門医を取得できます。臨床検査専門医

は全国で600名と大変少なく、専門研修プログラムを有する大学は四国では愛媛大学のみです。当科では、現在4名が機構専門医を有しており、検査部と連携して指導を行います。また、研究で養う洞察力と論理的思考力は、臨床をする上でも大変重要です。大学院に所属しながら研修を行うプログラムも用意しています。

2. プログラムの目的と特徴

本プログラムでは、臨床検査の基礎医学的背景、方法論、臨床的意義を十分に理解し、それを元に医師や他のメディカルスタッフと協力して適正な医療の実践に貢献することを目的とします。臨床検査専門医は検査部全体のマネジメントを行います。指導医のもと、各診療科からの検査データの解釈問合せに対するアドバイス、異常値（特に、生命にかかわるcritical value）への対応、日常検査データの精度管理、検査過誤を予防するための

システムの導入、検査法の標準化の推進、新しい検査方法の開発、新しい検査項目の選定、臨床の有用性を確認するための研究などを経験、学習します。臨床検査専門医は、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられ、診療だけでなく研究にも参画できるリサーチマインドを身につけることを目標とします。

3. 経験目標

臨床検査総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・細菌学、遺伝関連検査学、臨床生理学の基本7科目の研修を行います。それぞれの科目において、精度管理、異常値症例等を経験し、レポ

ートを作成します。臨床検査の報告書作成や、他科からのコンサルテーションへの対応を経験します。院内のチーム医療活動に参加します。検査データカンファレンス(RCPC)に参加し、レポートを作成します。

4. 指導医と指導体制

教 授	大澤 春彦	臨床検査医学
准教授	高田 康德	臨床検査医学
特任講師	川村 良一	臨床検査医学
助 教	高門美沙季	臨床検査医学

5. 研修に関する行事

	月	火	水	木	金
AM	検査室研修	検査診断業務	検査室研修	検査診断業務	検査室研修
PM	指導医の講義	カンファレンス	指導医の講義	RCPC・勉強会	カンファレンス

6. 新専門研修プログラム

愛媛大学医学部附属病院において3年間の研修を行います。臨床検査の基本科目とそのおおまかな研修期間は以下の通りですが、専攻医ごとにバランスの取れた研修日程を調整していきます。

- ① 臨床検査医学総論： 2～4か月
- ② 一般臨床検査学・臨床化学： 4～6か月
- ③ 臨床血液学： 4～7か月
- ④ 臨床微生物学： 4～7か月
- ⑤ 臨床免疫学・輸血学： 2～4か月
- ⑥ 遺伝子関連検査学： 2～4か月
- ⑦ 臨床生理学： 2～6か月

7. 専門研修修了後について

研修の修了が認定されたら専門医試験の受験資格が与えられます。この試験に合格すると、臨床検査専門医となります。臨床検査専門医には、さらに経験を積み大規模中規模施設の臨床検査部門を管理・運営すること、指導医となって現在は数少ない臨床検査専門医を育成する

こと、教育研究施設において臨床検査医学の教育と研究を担うことが期待されます。当科では、遺伝子検査等の専門性をさらに高め、precision medicineの実現を目指しています。

8. 専門研修の問い合わせ先

担当：大澤春彦（糖尿病内科・臨床検査医学 教授）

TEL：089-960-5647 E-mail：harosawa@m.ehime-u.ac.jp

